

浸水への備え



防災対策の基本

▶ 自助・共助の取組み

災害が大きくなると公的機関が全てのことに対応することは困難となります。このため「自らの命は自らが守る」という意識で行動することが大切です。また、災害の被害を防止・軽減するためには、地域の連携や助け合いも重要となります。

もしもに備えて
出来ること！



3つの連携が円滑なほど災害の被害は軽減できる！

自助

一人ひとりが自ら取り組むこと



自分と家族の命は
自分達で守る

共助

地域や身近にいる人
どうしが一緒に取り組むこと



地域 みんなで
助けあう

公助

国や自治体などが
取り組むこと

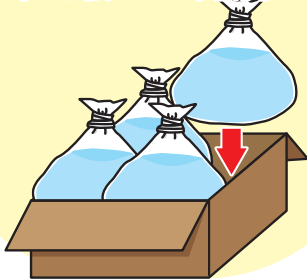


行政機関の
公的支援

▶ 自宅の浸水対策

自宅周辺で浸水の危険がありそうな場所を確認し、浸水深が浅いときは身近にある物で浸水対策をしましょう。

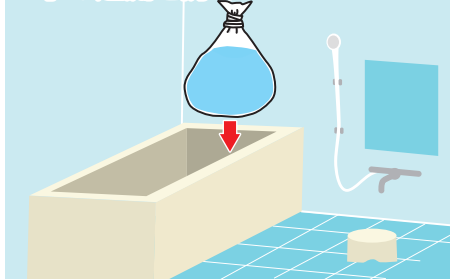
- 土のうを設置し雨水の侵入を防ぐ（ゴミ袋による簡易水のう）



- 側溝や雨水ますの掃除を行い排水能力を維持



- お風呂やトイレの排水口から下水の逆流を防ぐ



▶ 自主防災組織（活動）

自主防災組織とは、災害による被害を予防または軽減するため、自治会等を中心に自主的に活動する組織です。

日常の活動例

- 防災の知識の普及、啓発
- 災害危険の把握
- 防災訓練の実施
- 防災資機材の備蓄、管理

災害時の活動例

- 情報の収集、伝達
- 救出、救護
- 避難誘導
- 避難所の運営



▶ 備蓄について

災害時は支援物資がすぐ届きません。垂直避難を行うなど自宅で避難しなければいけない場合に備えて、物資を備蓄しておきましょう。

Point! 日頃からさりげない備蓄

日頃の買い物の中で少し余分に買って置いておく。
これだけで災害時の備えになります。



Point! 分散しておく



自宅の中でもどこが被災するかわかりません。

1箇所にまとめておくのではなく、分かん範囲で分散しておくとな々な状況に対応できます。

普段からできる食品の備蓄方法

ローリングストック法

蓄える→食べる→補充することを繰り返しながら一定量の食品が備蓄されている状態を保つ

